



カリオン

carillon

Vol.
31
2017.2



発行 姫路赤十字看護専門学校
発行責任者 学校長 佐藤四三
編集責任者 事務部長 川下清春
〒670-0063 姫路市下手野I-12-2
TEL/FAX 079-299-0052(直通)

TOPIC

災害拠点病院研修に参加して



私たちクラスIは、12月17日に姫路赤十字病院で行われた災害拠点病院研修に参加しました。傷病者の搬送、傷病者の家族など様々な役割を担当しました。今までに学んだことを活かし、テントなど素早く準備することができました。また、各自が周りを見て何をすることが必要か考えて、行動に移すことができたと思います。

学生だから何もできないと思うのではなく、できることは何かを考え、実践できるように普段から備えておくことが大切だと感じました。

(クラスI)

行事予定(平成29年2月～5月)

- 2月** 13日(月)～ クラスII 領域別実習再開
19日(日) 第106回看護師国家試験
- 3月** 1日(水)・2日(木) 卒業を祝う会
3日(金) クラスIII 卒業式
20日(月)～4月3日(月) 全クラス 春季休業
27日(月) 国家試験合格発表

- 4月** 6日(木) 入学式
14日(金) 新入生歓迎会
4月～6月 クラスI 基礎看護学実習I
29日(土)～5月5日(金) 保健週間
- 5月** 12日(金) ナイチングール祭



姫路赤十字看護専門学校 教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化するという赤十字の理念のもとに活動する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校は反省的実践家を育てるためにリフレクションを用いる。学生と教員にケアリングが起こる、このような学習過程を教育の基調とする。

【教育目標】

- 1)人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2)人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3)人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。
- 4)赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5)人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6)健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7)看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8)保健・医療・福祉制度と他業種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9)赤十字の諸活動に関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

トレーニングセンター +

平成28年10月13日(木)宍粟市生涯学習センター学遊館においてトレーニングセンターを開催しました。基礎行動訓練の後、救護資機材の取扱いや地震災害を想定した災害救護訓練を行いました。災害救護訓練では、2年生が赤十字救護班として互いに協力しながら、傷病者役を熱演する1年生の救護に当たりました。今年は外国人の傷病者役もあり、言葉が通じない中での救護活動も経験しました。話し合いや練習などの事前準備を通して災害救護活動への理解を深め、メンバー間で協力する必要性について学ぶことができました。

(専任教師:中林 朝香)



講師紹介「トレーニングセンターに関して」大西課長から一言

赤十字の最大の特徴は、「災害救護活動を行うこと」であり、赤十字の看護師となるためには、救護に関する基本的な知識や技術を在学中から身につけることが大切です。

社会課では、赤十字事業の推進を行う部署としてトレーニングセンター等を通じ、少しでも「災害力」を高めていただくため協力いたします。共に学びましょう。

(社会課課長:大西 勝彦)



防火防災訓練 学校、保育所、血液センター、居宅介護事業所・訪問看護ステーション 合同訓練の実施

平成28年12月22日(木)、震度6強の地震発生と看護実習室からの火災発生を想定した防火防災訓練を実施しました。訓練地震発生を知らせる緊急速報メールが鳴ると、学生も職員も一斉に「ドロップ」「カバー」「ホールド・オン」とシェイクアウト訓練を開始。

また、緊迫した雰囲気の中での初期消火、雨に濡れながらの避難も迅速に実施することができました。日頃から防災意識を高め、いざという時に落ち着いて行動できるよう、ぜひプラスワン訓練も行っていきましょう。

(専任教師:藤田 美佐子)



平成28年度 戴帽式 宣誓

私たち118回生は、無事に戴帽することができ、喜びと希望で胸がいっぱいです。また同時にナースキャップの重みを実感し、身の引き締まる思いです。これからは、辛いことやくじけそうなことがあっても、クラスみんなで協力し、患者さんに信頼される看護師になることを誓います。

戴帽をうけて

今回、憧れのナースキャップを頂いてとても嬉しいです。戴帽式は友達と理想の看護師について話す機会になり、私はどんな看護師になりたいのか真剣に考えました。これから、新たな気持ちで実習や授業に取り組もうと思います。

(戴帽生代表)

平成28年10月25日(火)



戴帽を祝う会

平成28年10月25日(火)



戴帽を祝う会を終えて

118回生の皆さん、戴帽おめでとうございます。ナースキャップを頂いた時の気持ちはいかがでしたか？入学から半年、実技練習や課題、テストなど忙しい日々だったと思いますが、気持ちを新たにすることができたのではないかでしょうか。いつも丁寧に指導してくださる先生方や、いつも支えてくれる家族への感謝の気持ちを忘れずに、どんな時も自分自身に負けず、同じ夢を持つ仲間と共に励まし合い、支え合っていきましょう。困った時、悩んだときはいつでも私たちに相談してください。

(戴帽を祝う会委員長)



戴帽を祝う会

日 時：平成28年10月26日(水) 公演：劇団プロデュース・F テーマ：「アハメドくんのいのちのリレー」



球技大会

今回の球技大会は会場が変更になったこともあり移動方法や試合数、昼食の場所など決め直さなくてはならず大変でした。しかし球技大会委員全員の協力もあり、球技大会を無事に終えることができました。普段は座学が多く運動不足になりがちですが学年ごとにチームを組み、思う存分体を動かすことは良い気分転換になり楽しむことができたのではないかと思います。

(球技大会委員長)



授業参観

生活支援講習の授業では癒しのハンドケアや足浴を行いました。癒しのハンドケアでは、心地よい音楽に色々な話をしながらゆっくりとマッサージをしました。足浴では自宅にある段ボール等で工夫し行いました。どちらのケアも日頃の疲れを忘れ、少しほっとできるようなそんな空気に包まれているようでした。この講習で習ったことをしっかりと練習し、私の手が患者さんの身体的・精神的支えになればと思いました。

(クラスII)



生活支援講習の参観に参加させて頂きました。子供の横に座らせてもらい講習したばかりのハンドマッサージと癒しのケアをしてもらいました。日頃の疲れがとれ、心地よい時間を過ごすことができました。厳しい闘病中の方なら私以上に癒されるマッサージだと思います。人の手のぬくもりとやさしい声かけは何よりも良薬になること思います。真剣に授業を受けている学生達の姿を見られたこと、熱心にご指導下さっている先生方に感謝をしたいと思いました。

(クラスII保護者)

エイズキャンペーン

11月26日(土)姫路保健所が主催している「世界エイズデーイベント in HIMEJI」にボランティアで参加しました。

私たちは、エイズへの理解と支援のシンボルマークであるレッドリボンのシールを使って、街頭の方々の爪にネイルアートを実施しました。「世界エイズデーっていつなの?」と質問を受けたり、「かわいくしてもらってありがとう」と言ってもらい、関心をもってもらうきっかけになったと思います。

(クラスII)



冬休みの思い出



冬季休業を利用して、同じクラスの友達2人と以前から計画していた餃子パーティーをしました。まずは買い出しから始まり、スーパーを3軒はしごしたり、餃子はタネから手作りし、皮が足りなくなって途中で買いにいったりとハプニングもありましたが、外はパリッと中はジューシーなどとてもおいしい餃子を作ることができました！

学校のことや私生活のことなどいろいろな話をし、2人の新たな一面を知ることもできました。とても楽しいひと時を過ごすことができました♪

(クラスⅠ)

冬季休業は、高校の友達に会ったり、家族と一緒に楽しい時間を過ごしました。また1月20日から基礎看護学実習Ⅱが始まるので、「病気が見える脳・神経」の本を購入し、学びを深められるよう努力しました。知識が少なく学ぶことが多々あり、すべては調べきれていませんが、有意義な時間を過ごせました。冬季休業明けも学び続ける姿勢を持ち続けていきたいと思います。

(クラスⅠ)



12月23日、友達とたこ焼きパーティー兼早めのクリスマスパーティーをしました。みんなで買出しをしてたこ焼きの準備をしました。かわり種としてキムチや牛スジ煮込み、チーズなどをたこの代わりに入れました。全部おいしかったです。ぜひ皆さんもたこ焼きに牛スジ煮込みをいれてみてください。とても楽しい時間を過ごせました。

(クラスⅡ)



冬季休業に同級生2人と佐津へ1泊2日のカニ旅行に行きました。刺身や焼きガニ、しゃぶしゃぶなどカニ料理を満喫しました。2日目は城崎に出て、城崎マリンワールドへ行きました。城崎マリンワールドではアジ釣りをして、自分たちが釣ったアジをその場でてんぷらにしてもらって食べました。その後マリンワールドを出ると雨が降ってきたので、雨宿りをしながら城崎をぶらりと歩きました。とても充実した時間を過ごせ、いい息抜きになったと思います。

(クラスⅡ)



冬季休業中、クラスⅢは看護師国家試験に向けて日々勉強をしていました。机上での勉強だけでは

なく、グループワークや今までの実習での経験を振り返りながら同級生と技術練習を行うなど忙しい冬季休業でした。国家試験まで残りあとわずか、クラス全員で合格に向かって進んでいきたいです。

(クラスⅢ)

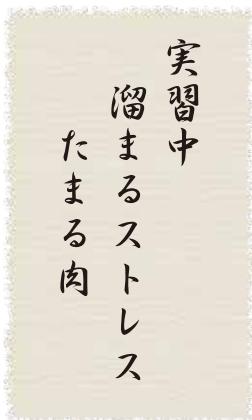


今年の年末年始は国家試験対策の冬季講習を受講したり、学校や家で勉強と勉強の毎日でした。お正月は祖母のいる広島に行き、厳島神社に初詣に行ってきました。勉強をするのは当たり前なのですが、神頼みはしたくなるもので、久しぶりに絵馬も書いてきました。おいしいものを食べ、いつもとは違った場所に行くことで、たまに息抜きをしながらも残りの日々、合格できるように頑張りたいと思います。

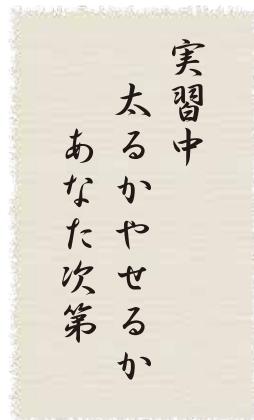
(クラスⅢ)

川柳

文化委員が川柳大会を企画しました。
学生投票により決定した各学年1位の作品を紹介します。



クラスIII



クラスII



クラスI



ボランティア活動



小児病棟訪問班 小児クリスマス会



小児病棟と院内保育所でクリスマス会を行いました。劇の中で子供たちが大きなツリーに飾り付けをして、一緒にツリーを作り上げていきました。また、「ジングルベル」を歌ったり、サンタさんの顔を描いたりして、子供たちが参加できるクリスマス会にしました。お土産の赤い靴下のポシェットとサンタの歌詞カードを渡したとき、子供たちが喜んでくれてとても嬉しかったです。子供たちだけでなく私たちにも心に残るクリスマス会になりました。

(クラスI)



院内図書班 古本市

12月13日～16日まで古本市を開催しました。古本市は院内図書活動で使う本の整理を行うこと、学生が本に触れる機会を設けること、古本市で集まったお金被災地などへ寄付することを目的で行っています。今回もたくさんの学生が古本市に来てくれました。集まったお金は日本赤十字社で募集している鳥取県中部地震災害義援金に贈りました。ご協力ありがとうございました。

(クラスIII)



献血班 クリスマスキャンペーン

12月18日(日)にイオンモール姫路リバーシティーでクラスI、クラスIIの献血班員で献血への呼びかけをおこないました。「届けよう命のプレゼント」というスローガンを班員で考え、献血してくださった方に渡すメッセージカードやプラカードを作成しました。当日は献血をしてくださった方の接待や、店の出入口や店内で呼びかけを行いました。また、呼びかけを行うばかりでなく、自分たちも献血を行うことで少しでも貢献できたと思います。

(クラスII)



看護教育実習Ⅱを終えて

平成28年10月12日(水)～10月27日(木)

今回の教育実習では、講義と演習そして実習指導を担当させていただきました。とても緊張しましたが、学生さん達の一生懸命な姿に支えられながら楽しく教育実習を終えることができました。この経験を今後の教育活動に活かし、日々リフレクションを行なながら、学生と共に成長し続ける教員を目指していきたいと思います。

(平成28年度兵庫県看護教員養成講習生5名)



講師紹介

姫路中央病院 認知症看護認定看護師

稻田 ゆかり

「健康障害を持つ高齢者の看護」



老年看護学の認知症、うつ、せん妄の分野を担当させて頂いています。認知症看護認定看護師として、職場での看護相談、事例検討会、院内・院外での研修などを行っています。今後、認知症高齢者が増加していく中で、看護の充実を図る分野もあります。実際の経験をもとに、より実践に適応できる講義を目指し、認知症に興味をもち、看護につなげができるようになってもらいたいです。

姫路赤十字病院 ICU病棟

重症集中ケア認定看護師 係長: 井口 雅徳

重症集中ケア認定看護師: 篠原 麻紀



病態生理学Ⅰの「循環器疾患」を担当しています。この授業では、心臓や血管に関連した疾患の病態を、臨床での治療の実際を交えて講義を進めています。イメージがしにくく難しい分野だと思いますが、実習や働きだした際の看護に活かせるような授業ができればと思っております。循環器疾患を持つ患者さんは、生活の中で上手く疾患と付き合っていく必要があります。患者さんとその家族の思いに寄り添える看護師を目指して、共に頑張っていきましょう。

病棟紹介

7階西病棟

7階西病棟は、泌尿器科と内科の混合病棟です。泌尿器科の手術では尿路変更、抗がん剤治療では脱毛などのボディーイメージの変化などで生活の質が左右されることもあります。そんな厳しい治療を受けられる方が、その人らしく生活できる援助を心がけています。患者さんやご家族の気持ちに寄り添い、心のこもった看護ケアができるよう、スタッフ一同頑張っています。学生の皆さんとも看護を、どんどん語り合いたいと思っています。

(7階西病棟師長:高橋 智代)



看護教員ラダー認定

校長より認定証が授与されました。

● 看護教員ラダーレベルII 内海 尚美 専任教師 / 名村 かよみ 専任教師

※看護教員ラダー:赤十字看護専門学校・赤十字助産師学校の能力向上のためのキャリア開発ラダー



カリオン歴史シリーズ

「スライド『巻軸包帯』と包帯及び袋」

包帯の巻き方は現在、災害医療論の赤十字救急法で三角巾での手当てを学ぶが、巻軸帯は使用していない。明治42年～昭和23年までのカリキュラムには「繡帯」という科目があり、それ以降も巻軸帯で全身を巻く看護の技術を練習してきた。各自に包帯とそれを入れる袋が貸与され、教師の素晴らしい技術を目標に友人たちと練習したものである。坂本モデル製作所のスライド「巻軸包帯」177枚がある。本校卒業生の村田美智子姉の指導のもとに70回生がそのモデルとなり、作成されている。

(副校长長:柳めぐみ)



第14回

関西看護学生看護研究大会 平成28年10月28日(金)

「18トリソミー患児への成長発達を促す関わり
～発達段階に合わせた遊びを取り入れて～」

今回、私は関西看護学生看護研究大会に発表者として参加しました。ケーススタディをまとめていく中で、自分自身の看護をリフレクションすることで対象にとってどうであったのかが明確になり、自己の看護観を深めることができました。

このような機会を下さった多くの方々に感謝します。そして今回の経験を今後の看護実践に活かしていきたいと思います。

(クラスIII)



学校関係者評価会議 ✓

学校関係者評価会議に参加して

2年前より、本校の実習施設関係者代表として委員をさせて頂いております。『看護学生』という言葉からは自分がその立場であった20余年前を思い出します。今ではその学生さんを指導し、また姫路赤十字看護専門学校のより良い運営に参画させて頂くことが光栄であると同時に、その責任の重さを実感しています。

今回も各委員の活発なディスカッションから、①働く楽しさを知る機会として、在校生と本校卒業生との交流の機会を増やすこと、②授業参観の更なる工夫、③ホームページの活用等が提案されており、今後の展開がとても楽しみです。

(医療法人 山伍会 播磨大塩病院 看護師 認知症ケア専門士:國永 貴裕)



編 集 後 記

2017年が始まりました。個人的には年始に辛いこと、それに付随してうれしい、ありがたいと思うことが次々とありました。「地域包括ケアシステムは地域に密着した形で展開されることが必要である。」日頃そのように教えている私。互助の意味や重要性を身をもって感じる機会となりました。人に支えられて生きているということを改めて実感しました。

(専任教師:名村かよみ)